

## 2 地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護  
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護  
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 20年 1月 10日
事業所名	グループホーム レジデンシャルケア徳川町
ユニット名	2階
事業所番号	2370200475
記入者名	職名 施設長 氏名 武 早苗
連絡先電話番号	052 933-0888

## 自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		
	<p>理念は4項目ある中の1つに『地域との交流を大切にして、地域に根づけるように努力する。』安心して生活のできるように支援していくことを掲げています。</p>		
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		
	<p>毎日、申し送りの際唱和しています。詰所に掲示して職員全員が理念を共有して理念の実践にむけて日々取り組んでいます。また、玄関に掲示してあります。</p>		
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>		
	<p>御家族様や地域の方へ入居時にわかりやすく資料を下に説明をしています。ご面会にいらっしゃった時にも目に入る位置に理念を玄関に掲示しています。</p>		
■■■			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		
	<p>ご利用者様の散歩中に隣近所の方とのふれあいもありますし、スーパーへの買物、ご利用者様が通っている美容院の店員の方より気軽に声をかけてくださいます。</p>		
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		
	<p>近隣の小学校の運動会に行かせていただいたり、地域の祭りにも見学に行かせていただいています。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	1ヶ月に1度職員会議を聞き、質の向上や改善に努めています。	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>	参加された方の意見を大切にして、サービスの質の向上に活かしています。また、わかりやすいように議事録を掲示して職員全員が熟読できるようにしています。	
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	地域包括支援センターの方々に運営推進会議に参加していただいています。必要な情報と連携をとるため市や区役所、社会協議会と連携がとれるようになっていて訪問もしていただきます。	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	成年後見制度を活用して、管理職、職員との話しを年に数回行っています。しかし、職員全員への周知はされていません。	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	虐待に対して理解してご利用者に安全と安心を提供できるようにしています。また、ご利用者様同士のトラブル防止に職員が和める環境づくりを提供しています。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職がご利用者様、御家族様のダメージにつながらないように少しでも減少できるように務めています。ご利用者様の生活で不便を感じないように配慮しています。		
<b>5.人材の育成と支援</b>			
19 職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修への参加を積極的に行っています。また、勉強会を通じて知識を身につけたりケアの方法を指導されています。また、採用後すぐに新人研修を受けています。		
20 同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者における研修や意見交換を行っている。また、訪問を行いお互い情報交換を行っています。外部研修などの情報を職員に紹介しています。		
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレスがたまらないように意見や不満を聞き入れて相談にもっていただいていますので解消しています。		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	カンファレンスした事をノートに書き、職員の不安や気づいた点、注意点などを職員全員で把握できるようにしています。そこで、自分自身の向上を常に考えられて、楽しみのもてるように対応をいただいています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>何をお話したいのかをゆっくりと時間をかけてお聞きして同じ目の高さ、声、笑顔に配慮して相手のペースに合わせ、尊重するように務めています。</p>	<p>更に、気長に根気良く話しを聞き入れられるようにしたいです。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>御家族様の安心とご利用者様となる方の安心を一番に考えて御家族様の思いを受け止められるように務めています。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けたものは、相互理解と柔軟な対応を心掛けて職員全員で相談内容を共有して対応をしています。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご利用者様の状況と御家族様の希望に沿い、御家族様が一緒に泊まりたいとの要望がある際にはそのように対応をさせていただいています。安心して楽しみのある生活が送れるように務めています。</p>	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>毎日の生活の中でご利用者様の歩んできた人生を伺い、共感することで信頼関係を築いて一人ひとりの人格を尊重して対応をしています。また、お互いに支えあいながら過ごしています。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御家族様にご利用様の様子を共有して、共感できるようにお話しています。また、日々の介護計画を御家族様と共に考えるようにしています。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	イベントなどを通じてご来訪を促す企画を行ってよりよい関係が築けるように働きかけています。来られない方には電話や手紙などで取り次いでいます。また、文章で日常生活のご報告もしています。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用様のご友人、近隣の方の来訪も歓迎しています。		
31 利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご利用様同士声を掛け合い、助け合える温かみのある暮らしを提供できるように努めています。		
32 関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去の際、御家族様との十分な話し合いをして納得のいく退去先であるように支援しています。また、手紙などでその後の関係を大切にしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1.一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々のコミュニケーションより一人ひとりの思いや暮らし方の希望を把握して本人本意で検討して、ケアに活かせるように努めています。また、ケアプランにも組み込んでいます。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活暦や生活環境における情報を日々の会議で収集できるようにしています。また、関心の多い話題について話して今までの暮らしぶりを踏まえてケアするように努めています。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>日々の介護や介護計画に反映できるようにご利用者様一人ひとりの特徴や変化を具体的にアセスメント表にチェックしています。また、職員同士で連携をとっています。</p>	
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>御家族様の意向や希望をお聞きして、ご利用者様がよりよく暮らせるようにアセスメントを作成してご利用者様本位で行っています。また、職員間で話し合いの未作成しています。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>期間に関わらずご本人様の変化に応じて臨機応変に見直ししていくようにしています。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御家族様の同意の下、協力医療機関と連携を取り、適切な医療が受けられるように支援しています。また、希望をするかかりつけ医とも連携をとっています。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要時は定期的に専門医に診ていただき通院をしていただけるように支援をしています。また、協力医療機関との連携もとって、相談や適切な診断や診療が受けられるように支援しています。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週1回定期的に訪問看護があります。健康管理や医師への伝達の支援をしていただいています。また、24時間適切なアドバイスを受けられるように体制がなされています。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	ご利用様が入院の運びとなった時協力医療機関の医師に紹介していただき、スムーズに対応していただいています。また、入院中も密に連絡を取り早期退院に向けて支援をしています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた過ごし方を考えて御家族様と協力医療機関の医師、看護師と密に連携を取り、職員全員で連携を取り合い用法を共有し、対応ができるように務めています。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化した場合、可能なこと、困難なこと、不安なことを職員全員で話し合い情報を共有して不可能、可能なことは明確にしています。また、御家族様と、協力医療機関との連絡を取り合い対応をしています。他のサービス事業者とも連携を取り合い支援をしています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>ご利用者様一人ひとり自尊心を傷をつけないように配慮しています。記録などの個人情報の取扱いは毎回収納して鍵をかけて保管しています。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>できうる限り希望に沿うように行い、困っている時には理解していただけるように納得できるように工夫して説明しています。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ご利用者様に応じて個々に合った趣味や新聞や読み書き等の生活サイクルが活かせるように毎日が快適に過ごせるようにしていただいています。</p>	
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>身だしなみには注意をして、ご本人様が髪の色を染めたいと要望がある時は美容院までお付き合いをしたり、訪問美容の方に来て頂いています。お化粧品をして、喜んでいただいたり衣服の乱れも整えてご本人様の意思を尊重して着て頂いています。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食前に今日の献立を丁寧にお伝えして、ご利用者様に食事の興味を持っていただけるようにして、食後には食器拭きを手伝っていただいています。		
55 本人の嗜好の支援  本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご利用者様応じて飲み物やおやつを提供しています。また、職員とご利用者様と一緒に手作りのおやつを召し上げる事もあります。お酒やタバコは要望がないのでお出ししていません。		
56 気持ちよい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ご利用者様の状況に応じて自尊心を傷つけない様に配慮しています。また、排泄パターンの把握や排便の観察もお聞きして体調の管理をしています。		
57 入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1番に入浴したい、今日入浴したいとご希望のある時に入浴できるように配慮しています。入浴を断られる際には定期的に入浴できるようにお声をかけさせていただいています。		
58 安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	安眠につながるように、日中にリハビリ体操を行ったり、レクリエーションに参加していただいています。体調の優れないときやご本人様の意思で日中も休息ができるようにしています。また、アロマランプをたいてリラックスしていただいています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご利用者様とレクリエーションをしていただいています。また、買物に行ったりしています。洗濯を行い、干して、たたむ等、一人ひとり可能なことを共に行っていきます。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用様が、自分の手元にお金があり、とても大切にしているので職員は希望に応じて財布を持って管理していただけるようにしています。		
61 日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご利用様の体調を考慮しながら、外出の機会をもうけています。また、歩くことが困難な方でも援助して外出できるように支援しています。		
62 普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	定期的にお花見や紅葉狩り、喫茶店、外食、ご利用者さまのご希望によって行ってみたいところへ出かけられるように支援しています。		
63 電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用様が望み、電話をかけたいとおっしゃられた時支援をしています。また、手紙のやり取りもあります。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	居心地のよい環境を作ることを心掛けて御家族様だけでなくご友人の方もゆっくりしていただくようにしています。また、御家族様にも楽しみながらレクリエーションにも参加していけるよう配慮しています。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないことを職員は理解し、ご利用者様が安心していただけるように務めています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室に鍵をかけることはしていません。ご利用者様一人ひとりご自由に居室に行き来ができるようになっています。		
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	ご利用者様のプライバシーに配慮しながら居室に入る際には声をかけてから、ノックをしてから入室しています。また、細かい事に充分でない時もありますが、所在や安全確認は怠っていません。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤は洗濯場、刃物は台所など適材適所に保管していますが、危険行為がないようにご利用者様の所在の把握を徹底してまいす。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	未然に事故を防止するために対策をとっています。ガスコンロのボタンは夜間はロックしていません。また、ヒヤリハットを活用して、万が一起こってしまった事故にも再発を防ぐように対策をとっています。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時には協力医療機関の医師や看護師の24時間の対応をしていただきます。職員間の連絡網も整えています。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	近隣の方や、民生委員、消防団の方にも面識を持っていただいています。また、避難訓練や消火訓練を行い意識を持っていただくよう配慮しています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p> <p>家族の面会時にはご利用者様の近況報告を行い、説明しています。事故があった際にはすぐに御家族様に連絡して報告しています。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>毎日の血圧の測定、検温、1ヶ月に1度の体重測定を行い、常に体調の変化には早期に対応して職員同士申し送りの徹底をしています。また、協力医療機関への連携を行っています。</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>内服薬は皆が理解できるように説明書を確認して内容を把握しています。体調の変化には申し送り、相談に努めています。</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> <p>ご利用者様に応じて腹部マッサージをして乳製品を摂っていただいで便秘の予防に努めています。便秘予防体操を毎日しています。</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> <p>毎食後は歯磨きをしています。仕上げなどの介助が必要な方は介助を行い、清潔に努めています。</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> <p>食事量、水分量は表に記録しています。職員は健康を考えて管理をしています。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	食事前後、トイレ後などの手洗いの徹底を促して面会の方にも手洗いうがいを促しています。インフルエンザワクチンは毎年希望者の方に行っています。また、ドクターエアータオルで手洗い後に殺菌をしています。		
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	定期的にハイターの使用や食器類、台所用品の煮沸消毒も実行しています。食材は毎日購入して新鮮な物を使用しています。食中毒などの対策で、毎食全ての調理品を冷蔵庫で保管して、万が一の際原因を確かめることができるように努めています。		食材はできうる限り添加物、農薬の少ないものを使いたい。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには季節の花を植えてご利用様と職員と一緒に玄関まわりの清掃をしてどなたでも訪問しやすい環境へと工夫しています。		
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用様と共に季節に合った壁面構成をしています。季節感のある飾り付けを行っています。ご利用様の描いた絵や写真も飾ってあります。入浴の際も好みに合わせて入浴剤を入れています。また、アロマランプをたいてリラックス効果を高め、ゆったりと過ごせるように配慮しています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのテーブル席、畳スペース、ソファ、廊下の長いすとお好きな所で過ごせるように場所の提供をしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	居室にはご本人様を使い慣れたものを置いて写真 やソファ、机などくつろげるよう工夫をしていま す。		
84	換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	毎日換気をして適度な温度とご利用者様の好み の温度を調節しています。アロマランプも1日3回 たいています。リラクセスのできる環境へと配 慮しています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	ご利用者様に合った福祉用具を使い自立した生 活を送れるように工夫しています。また、動線に は危険なものや障害物は置かないように配慮 しています。		
86	わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	トイレにはわかりやすく看板をつけてどなた でも分かるように環境づくりをしたり、ご 利用者様の自尊心を傷つけない様に配慮 しています。		
87	建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	ご利用者様と共に洗濯物を干して、プラン タに花や野菜を作り、天気の良い日には お茶などを摂る事があります。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 す る 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

食材は身体によく安全なものを使用していますし、水は ウォーターと身体によいものを使用しています。